

通勤と交通事故

■車の利用と交通事故について

通勤に車を利用すると、交通事故を起こす、あるいは事故に遭遇する可能性があります。

平成 24 年の交通事故発生件数は、665,000 件です。

車の全国利用人口を約 5,000 万人、これから一生の間に車を 50 年間利用すると仮定すると、その間に事故を起こす、あるいは事故に遭遇する確率は、約 49%（注 1）となります。

2 人に 1 人が事故を起こすか遭遇することになります。

$$\text{注 1)} \quad 1 - [1 - (66.5 / 5000)]^{50} = 0.49$$

死亡事故を起こす、あるいは死亡する確率も高くなります。

平成 24 年の死亡事故件数は 4,280 件、死亡者数は 4,411 人です。

上記と同様な仮定をすると、死亡事故を起こす、あるいは死亡する確率は約 0.43%（注 1）となります。

約 200 人に 1 人が死亡事故を起こすか、死亡することになります。

$$\text{注 2)} \quad 1 - [1 - (4280 / 50,000,000)]^{50} = 0.0043$$

平成 24 年 交通事故発生状況

| 分類 | 数値 | 構成率 |
|------|-----------|---------|
| 発生件数 | 66万5,138件 | 100.0% |
| 死亡事故 | 4,280件 | 0.60% |
| 重傷事故 | 4万4,467件 | 6.70% |
| 軽傷事故 | 61万6,391件 | 92.70% |
| 死傷者数 | 82万9,807人 | 100.00% |
| 死者数 | 4,411人 | 0.50% |
| 負傷者数 | 82万9,807人 | 99.50% |
| 重傷者 | 4万6,665人 | 5.60% |
| 軽傷者 | 77万8,731人 | 93.80% |